

けやき教室 Q&A

Q けやき教室で指導を受けている間、クラスの授業を抜けることになりましたが、抜けた分のクラスの授業のフォローについてはどうしているのですか？

A 担任から、抜けた分のクラスの授業で配られたプリントを渡すなど、風邪等で欠席した児童と同様に対応しますが、ご心配の場合には、必要に応じてご家庭でフォローしていただければと思います。

Q 学習の遅れがある場合、教科の補充をしてもらうことはできますか？

A けやき教室では教科の補充は行いません。けやき教室は個別の指導計画に基づき、学習面以外の支援や特性に応じた支援を優先するため、教科の補充に焦点を当てることはありません。

もし、教科の補充が必要であれば、学習サポート機関（放課後の算数教室や未来塾など）の併用を検討されることをお勧めします。

Q 学校行事とけやき教室の指導が重なった場合はどうなりますか？

A 学校行事が優先となります。学校行事と重なった場合には、けやき教室の指導はありません。

Q けやき教室を利用していることで、他の子から心ない言動を受けることなどはありませんか？

A けやき教室では各学校の3年生等を対象にした理解授業、けやき教室についての掲示を行っています。「けやき教室は得意を伸ばし、苦手挑戦する場」ということを4校に向けて発信しています。そのほかにも在籍学級の先生方からクラスの児童に向けて、「得意を伸ばし、苦手なこと一生懸命挑戦しているから応援してあげようね」と温かい声をかけていただいています。けやき教室に通ってきている児童は、クラスで「いってらっしゃい」と送り出してもらっていますので安心していただければと思います。

Q 特性はどの程度改善されますか？

A けやき教室は、特性そのものを変えるのではなく、特性に向き合い、対処する方法を学ぶ場として機能します。けやき教室では、個々の特性を理解した上で、一人一人に応じた支援を行います。そのことで特性が目立ちにくくなり、日常生活や学習での困難が大きく改善される場合もあります。例えば以下のような姿が期待されます。

- ・自閉スペクトラム症（ASD）の特性のある児童が、ソーシャルスキルトレーニング（SST）を通じて人との関わりがスムーズになる。
- ・注意欠陥・多動性障害（ADHD）の特性のある児童が、スケジュール管理や集中するコツを学び、作業効率を向上させる。

特性は完全になくなるわけではありませんが、それをどのようにコントロールし、学校生活で活かすかが重要です。さらに、けやき教室での支援が効果を発揮するためには、家庭や学校、地域社会全体での協力が不可欠です。